

あさかぜ

高知学芸高等学校同窓会関東支部

機関誌 35号

2022.9

〒263-0005

千葉県千葉市稲毛区

長沼町263-16-3 石川明男

TEL. 043(257)2614

FAX. 043(257)2614

第35回関東支部総会は 関東支部同窓会幹事会が10月29日(土)に オンラインで開催します！

【主なコンテンツ】

第34回（2021年）関東支部総会レポート
特別授業レポート 「シルバーベンチャーは楽しい」 福川清史さん（6期）
SPECIALインタビュー 俳優 はぎの一（はじめ）さん（42期）
各期の声

第35回総会 特別授業・特別企画のお知らせ
高知学芸高校同窓会 第35回関東支部総会のご案内

第34回（2021年） 関東支部総会 開催

コロナ禍により本部、各支部の同窓会総会の中止が相次ぐなか、昨年10月23日（土）に、第34回関東支部総会を一昨年に引き続きオンラインにて開催しました。

関東支部幹事会が都内から配信し、本部役員や先生方は学芸高校から、同窓生は各自宅等から参加し、総勢50名近くがオンラインで集いました。

来賓として、本部からは、西川博行会長（6期）、福田恵美副会長（6期）、森木弘道顧問（2期）、浜田祥夫常任幹事（19期）が、学校からは、橋本和紀校長先生、森下表先生（社会・同窓会副会長兼任）、北川智先生（英語・同窓会校内幹事兼任）が参加されました。更に、関西支部は、山岡聖子事務局長を中心に



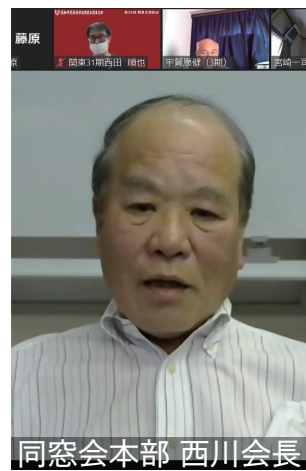
石川関東支部長

大阪から、中国支部は、森隆支部長（6期）、平石浩治さん（25期）、平石千津さん（25期）が岡山から参加されました。

今回は、内藤忠司氏（11期）の司会で、第1部は、石川明男関東支部長（6期）の活動報告や、関東支部役員からの会計報告、監査報告が行われました。

石川関東支部長からは、「関東支部は、今年も「あさかぜ」を発行しており、関東支部ホームページから閲覧できるので是非ご覧ください。役員一同頑張って会を進めて行くので、今後ともよろしく願います」と挨拶がありました。

西川同窓会本部会長からは、「同窓会全体の動きとしては、昨年同様、これまで予定されていた支部総会、本部総会は全て中止となり、これから予定されている支部総会も開催が厳しいと思われます。また、昨年の関東支部総会で紹介した、





橋本校長先生

土佐清水市にオープンした水族館 S A T O U M I は、開館3か月で開館1年間の入場者数の目標をクリアして、昨年度末までに17万5千人入場したとのことで、周辺の観光施設も大変賑わい、開館2年目も、地域と連携しながら竜串をPRしていきたいと高知新聞で報道されていました。是非皆さんも高知に帰った際は、足摺まで足を延ばして頂いて、高知県、また、S A T O U M I の応援団になつてもらえると幸いです。コロナの状況ではありませんが、お体をご自愛頂いて、皆さんそれぞれの立場で益々頑張ってください」とのコメントを頂きました。

橋本校長先生からは学校の近況をご紹介頂きました。

「コロナ感染対策を続けつつの学校運営ですが、零か百ではなく、予防しながらできることをやっていくという形で進めています。先月の下旬には、昨年できなかった体育祭を、

競技内容は通常より制限した形で無観客で行う工夫をしながら開催しました。今後も学校行事はできるだけ中止ではなく、工夫しながら実施できればと思っています。来週の月曜日には、高校生が研修旅行に出発します。本来は北陸アルペンルートを通って関東に入り、帰ってくるという流れでしたが、こちらも短縮版で北陸のみで帰ってくる形で工夫をしています。

今春の大学入試の実績ですが、生徒が非常によく頑張ってくれて、国立の合格者が184名となり、県内の学校ではトップとなりました。東京大、京都大をはじめとする難関大の合格者も、近年の中では最も良い成績を挙げています。今後、入試制度が大きく変わっていく時期でもありますので、そういったことにも対応しながら、生徒の進路実現に努めていきます。

学内の教育活動については、課題研究という探求活動を高校生からずっと取り組んでおり、去年から中学生にもその取り組みを入れて、中高一貫の取り組みにしようということではじめており、今年、中学生も含めた活動の2年目となっています。2年目ということで、去年中三

だった生徒が今年高校に入ってきて、活動しています。昨日、進学ガイダンスという、全国の色々な大学の先生からリモートでお話を聞いたり、個別質問をするという行事が高一生向けにありましたが、例年以上に希望者が個別に質問に行く、放課後の参加者が非常に多く、生徒が動路選択の意識を高めて、積極的に動くという姿勢ができています。これは、去年からの探究活動の一貫の流れの中で、刺激も生徒たちに伝えられているのではないかと思っております。嬉しく思っています。本校は中高一貫であるので、これからも中高一貫を活かした取り組みをしていきたいと思っております。

一人一台パソコンというのも、今の教育界では言われていますが、今年4学年に一人一台という形で導入して、来年度には全学年に導入する予定で進めています。活用の仕方にも徐々に入れていく予定です。パソコンばかりで勉強する訳にはいかなので、バランスを考えながら、使えるところから使っていく予定であり、先ほどの探究活動にも活用できたらと考えています。

同窓生の皆さんには、今後も学芸への暖かい眼差しを引き続き向けて

頂けるようお願いいたします。」

第2部は、福川清史氏(6期)による特別授業「シルバーベンチャーは楽しい」として、氏の様々な経験を踏まえた実のある話をして頂きました。その後、「さよならは言わない」を斉唱しました。第3部は、一昨年に引き続き、部活動発表会として、男子バレーボール部、ソフトボール部、剣道部、華道部の顧問の先生方のご協力を得て、部活動の模様を配信しました。

今回はオンライン開催ということもあり、前述の通り、関西支部と中国支部の方々にもご参加頂いた中で、関西支部の山岡事務局長と、中国支部事務局の平石さんから挨拶を頂きました。

その後、学芸讃歌を斉唱し、石川関東支部長より挨拶があり、無事閉会しました。閉会後は、本部役員と同窓生の方々と懇談し、盛り上がりました。

2回目のオンライン総会ということで、一昨年よりスムーズに運営できました。早く対面での総会を再開したいところですが、加えて、オンラインで同窓生がつながる場も提供していきたいと思っております。

(36期 藤原清幸 記)

特別授業

シルバーベンチャーは

楽しい

福川清史氏（6期）



皆さんこんにちは。6期の福川です。同窓会の中でお話をさせて頂くという大変光栄な機会を頂きまして、幹事の皆様には熱く御礼申し上げます。特別授業という高尚な名前からすると、余り期待をしなくて欲しくて、どちらかというかと太話に近い話になると思いますので、どうぞそのつもりでお聞き頂ければと思います。

「仕事上の転機」

仕事上の転機なんですけども、私のもとと化学で、創薬研究という新しい薬を発明するという仕事をやっておりまして、ずっと試験管を振って人生を送ろうと思っていましたんですけども、42歳の時にいきなり国際事業部というところに異動命令が

略歴：

- * 四万十市（旧・中村市） 藤岡出身
- * 学芸高：6期卒業
- * クラブ：化学部
- * 大学：放浪
- * 学位：薬学博士（北海道大学）
- * 元勤務先：旭化成(株) 医薬事業部
- * 海外駐在：スイス、英国
- * スピンアウト：2000年

福川氏 略歴①

出まして、自分のやっていることが180度変わったという時がありました。ここから色々展開していくんですけども、自分の狭い化学だけの専門職から、国際事業部という守備範囲が非常に広い世界に押し込まれて、まして、仕事の内容も分からないし、英語も喋れないし、赤くなったり、青くなったりすることが何度もありました。ここで逃げる訳にはいかん、ということと頑張った次第です。

「医薬業界のごく大雑把な背景」

私が身を置いている医薬業界というのは、どんな世界なのか、ごくごく大雑把な背景を、ちょっとお話しさせて頂きたいと思えます。

現在：

日本メダック株式会社：
代表取締役社長（設立創業）
2021年6月より：相談役
製薬会社（第一種医薬品製造販売業）
新薬の開発と製造販売承認取得
* リウマチ薬
* 脳腫瘍薬
* 骨髄移植前処理薬

ファーマパートナーズ株式会社
代表取締役社長
品質確保のための医薬品海外製造所の国内管理人
コンサルティング

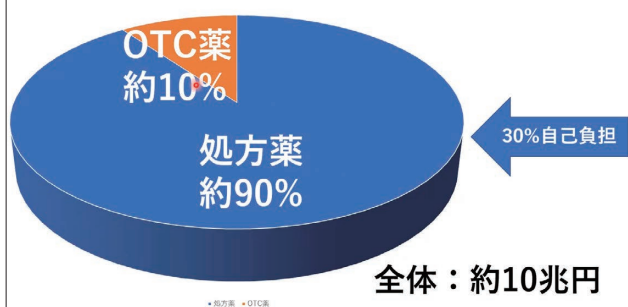
福川氏 略歴②

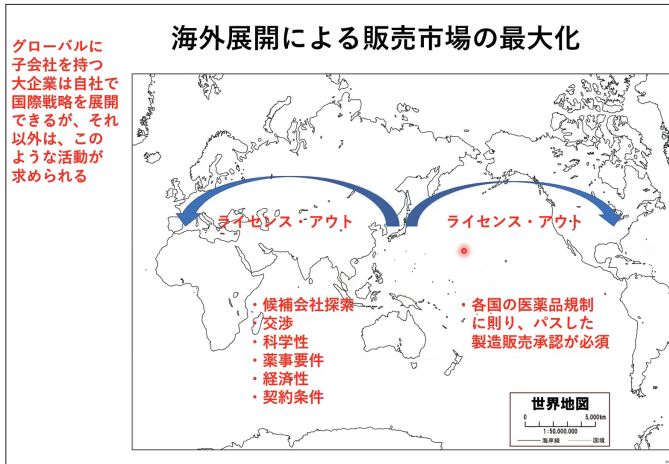
日本の保険制度というのは、皆さんご存じの通り、皆保険制度という、日本国民全員が健康保険に入っているんですね。この仕組みというのは、収入の多い人は高い保険料を払う、収入の少ない人は安い保険料を払う、だけど、病院に行ったら、同じ治療を受ける。これは、アメリカが、クリントンやオバマの時に、医療改革でやろうとしたんですが、アメリカ独特の国柄もあってできなかった。日本はこれをやっているんですね。日本はよく、成功した社会主義国と言われる時がありますが、この典型的な一つが皆保険制度なんです。これはイギリスと日本ぐらい

は発達しているのではと思います。ただ、このことで、この原資は健康保険料、税金で賄っているのですが、今の年齢構成からすると、いわゆる高齢者社会になってきて、保険財政が赤字になって、壁に突き当たっているもの、何とかこれを維持しようとして、厚生労働省も色々施策を練っている状況だと思います。

日本の医薬品市場は、全体で約10兆円、そのうち処方薬、我々が医者さんに行つて、先生が処方箋を書いて、その処方箋を持って薬局に行つて30%のお金を払って薬を貰うという、これが90%です。それでもう一つはOTC薬という

日本の医薬品市場





のがあります。Over the counter、我々が薬局に飛び込んで、風邪気味だからルを下さい、など、殆ど自由に買えるOCT薬、これが10%です。私があずかっているのは、処方薬と言われる約9兆円の世界の話なんです。ただ、先ほど言いましたように、厚生労働省は、保険財政の赤字状態が続いているので、これを何とかしたいということ、この処方薬をもつと安くできないかということで、国が決める薬価をカットするとか、あるいは、ジェネリック薬品をたくさん使ってください、とか、力を入れ

ようとしています。

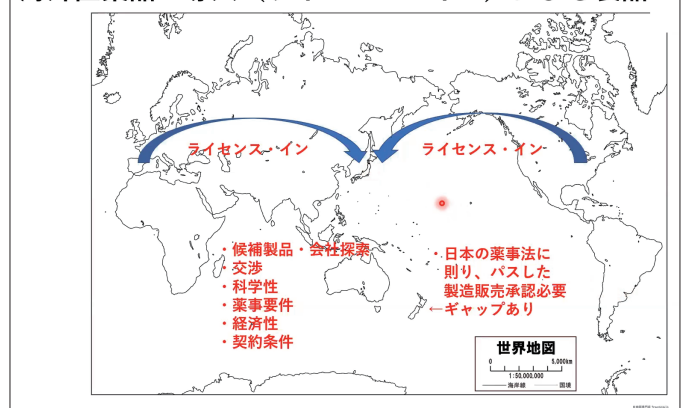
それからOCT薬、日本は10%ですけど、欧米はもっと多いので、OCT薬をもっと使ってもらおうと、セルフメディケーションと称して、そこそこの病気だったら病院に行かずに自分で薬を買って治してくれ、ということ、できるだけOCT薬を上げようというプロモーションも、厚生労働省がやろうとしています。

私の絡んでいた、自分達の薬をどうやって展開するかですが、日本で発明して、患者さんを使って臨床開発をして、厚生労働省の製造販売承認を得た製品は、日本の市場だけで売るのはなく、これを欧米各国に出して売っていききたい、というのが企業の考え方です。この時にグローバルに子会社を持つような会社、例えば、アメリカのファイザーとか、日本のタケダとか、そういう海外にも自分達の大きな子会社がある会社は、自分達の会社でグローバルで開発できますが、日本の製薬会社の特徴として多い中規模の会社は、まだ自分達の子会社で全部を賄うまではいかないので、販売規模を最大化するには、ライセンス・アウトと、特許、基礎データ、臨

床データなどを使わせる権利を、海外の会社と与えて、そこで開発して貰って、販売してもらおう、それにやるライセンス料を貰うという図式があります。そのためには、候補会社の探索から始まって、交渉、科学的に他の薬に比べて優位性があるのかという科学性、各国にある薬事要件をどのように満たすのか、儲かるかどうかの経済性、一番タフなところである契約交渉が、全てうまくいけば、各国の医薬品規制にのっとり、製造販売商品が取れたものから、各国で販売されます。

今度は、日本の製薬会社は、自分達の開発で薬を作ろうとしています。新しい薬を作るのは大変なこと、会社も生きていかなければならないので、どうやって会社の製品ラインを増やしていくかということ、ライセンス・イン、例えば、アメリカの製薬会社、あるいは、ヨーロッパの製薬会社で、日本の市場に入りたいと思っている会社と交渉して、医薬品の導入をする。日本の市場というのは、世界の医薬品市場から比べますと、単一国としては第二位なんです。それくらい日本の市場は大きいんです。アメリカが一番、日本が二番、た

海外医薬品の導入（ライセンス・イン）による製品



だ、EUを全体の市場を見ると、EUが2番になります。欧米の会社も、日本の会社も情報交換しているんですけども候補製品を持っている会社を探し、情報交換し、少し進めることができるようであれば交渉する。交渉しながら、先ほど言いましたけど、科学的に優位性があるのか、日本独特の薬事要件を満たすことができるのか、そのギャップをどう埋めるのか、日本独特の薬価制度の中での経済性の計算、もちろん一番タフな契約条件の交渉、これらをパスしたものが、日本の製薬会社の中で、再度、日本人

を使った臨床試験をやりまして、厚生労働省で承認を得て販売する。私はこういった仕事をずっとやっていました。

「ハードな海外駐在時代」

それで、私のいた会社も製薬会社としては中規模の会社だったものから、ライセンセンス・イン、アウトをしないといけない会社だったので、現地の子会社を持って、これを運営しながら、ライセンス・イン、アウト、現地での販売承認・登録、そういうことをやるという戦略を組みました。そこで、インターナショナルリゼーションをやるということ、会社を説得しまして、まず、スイスのチューリッヒに現地子会社を作りました。イタリアのミラノにも作りました。三番目に、ドイツのドナウ川の中流域にあるウルムに作りました。私自身は、スイスに駐在していました。イタリアとドイツの子会社の三社の会社の経営をしていました。

ちよつとバブルな話で恐縮なんですけども、じゃあどうやって、チューリッヒに住んでいて、イタリアやドイツの会社を運営していたのかというと、非常にハードな通勤だったんです。例えば、月曜日、朝一番の飛行機で、チューリッヒからミラノに飛んで、最終便で帰って来る。翌日は、朝5時に起きて、車でドイツへ行く。この通勤が、チューリッヒを出て、オーストリアに一度入って、ドイツのアウトバーンを通って片道3時間ほど車を運転して、ウルムで仕事をした後、同じ日に帰って来る。水木金はチューリッヒで仕事をします。こんな勤務をずっとやっていました。若くないとできないし、バブルな時代の通勤でもあったと思います。

その後、今度は、EU統合の関係で、ロンドンに欧州医薬品庁というのができたので、ロンドンにも事務所を作りまして、ここでヨーロッパのオペレーションをするということ、ロンドンでも仕事をさせて頂きました。

新しい薬が承認されるまで、新しい薬の製造販売の申請から承認まで1年かかります。以前は2、3年かかったのですが、ヨーロッパ、アメリカからのプレッシャーが強くて、1年まで何とか頑張つて短縮してきたんですけれども、1年の間に厚生労働省に付随する色んな委員会の評価を得て、製造販売承認を受けることができます。その間の質問

たるや、ざっと100から200ぐらいはありますが、それらに答えないと次に進まない、承認が得られないということ、結構、徹夜して仕事をしたりということがあります。

今、コロナのワクチンであるとか薬であるとか、日々ニュースでも出ておりますが、特例承認というのがあります。これはすごく早く評価して、世に出しています。普通の薬通りのルールでやっていると、患者がみんな死んでしまうということがあるので、実は、特例承認でワクチンも薬関係も出ております。ちよつとニュースを観るときに、そこだけ注意して観てください。

私のシルバーベンチャーを始めた動機

- * 人生で勝負したのか？
- * リスクは取ったのか？
- * やり残したことはないのか？
- * 創業研究、国際ビジネスで培った経験、知識、ネットワークを活かせないか？
- * 海外とのギャップ（文化、考え方、商習慣、業事規制、等）を埋め、海外⇒日本、日本⇒海外の医薬ビジネスに貢献できないか？
- * タイトルのない裸の自分がどこまで通用するのか？
- * 退職前には以前の会社で、組織、規則、しがらみ、等で発揮できなかった自分を自分の采配で試してみたい。
- * 仕事と趣味、旅行で充実した生活を送りたい。
- * 同じように考えている、価値観を共有できる同士になる人はいないか。
- * 家族：子供たちは大学を卒業し、自立できている。
自分の小遣いを使う。生活費には手を付けない。

「シルバーベンチャーの立ち上げ」

ヨーロッパ駐在から帰ってきてしばらくやってたんですが、どうしても、不完全燃焼的なものが出てきて、自問自答していました。ということで、色々考えて、家族には迷惑をかけたくないので、当時は子供達も大学を卒業して自立をしていましたので、自分の小遣いを使って、女房に苦勞をさせないで、生活費には手を付けないで、自分の小遣いの範囲でやるという風に至りました。

ぐちゃぐちゃ考えていてもいなかったので、兎に角やってみようと思いましたが、やって失敗したら結果がでるからそれでいいんです。でも、やらなかったら、やってたらどうなっていたらどうか、想像のちよつとやした世界で生きなきゃいけない、これはかなわんな、ということ、はじめてたということがあります。

ただ、むやみやたらとやるんじゃなくて、段階的なアプローチでやりましょう、ということ、まずはコンサルタントから始めました。特に海外の会社は、日本の商習慣とか薬事とか非常に分かりづらいということがあって、そのためのコンサルタントをやろうと、その一つの大事なことはお金がかからないし、自分の

頭だけでできます。幸いなことに、最初、三社ほど海外の顧客がついて、自分の食い扶持はできました。これを少しづつ増やしていきながら、本当にやりたかった製薬会社、要するに、薬の開発候補品を持って、自分で臨床開発をし、厚生労働省の製造販売承認を取る、モノを動かす、これをやりたかったので、兎に角ここにゴールを置きました。ただ、これはお金がかかり、自分でなかなか調達できないもんですから、海外の中小の製薬会社や日本の商社呼び込んで参加して頂きました。こういうことを、10〜15年かけて少しづつやってきたという訳です。

退職後の人生はそれぞれの価値観でいいと思いますが、退職後に仕事もしたいという方に声を掛け、人を集めて一緒に仕事をする事で拡大していききました。まだ必要とされているという事は、いろんな生きがいを感じると、一緒にやっている皆さんからは聞いています。

シニアの人は、非常にまじめです。まだ働こうということですから、責任感もあります。豊富な知識と経験もありますし、過去、若い時に、成功・失敗は一杯経験しているので、仕事の効率が非常にいいです。それ

スタッフ年齢と日常生活（ファーマパートナーズ）

イニシャル	年齢	仕事%	趣味、旅行、ゴルフ、等%
YT	79	80	20
KF	74	90	10
MY	70	90	10
YO	70	90	10
TS	62	70	30
KK	78	60	40
TK	68	50	50
NS	42	100	
AT (女性)	44	50	1歳児子育て中

一応会社は黒字です。

から、過去の仕事を通して、広いネットワークを持っています。また、年金世代なので、正直いってあんまり高いお金を払う必要がない、ということもあります。

リクルートは、私一人だけではできませんので、知り合いとかネットワークを通して効率よく集めました。面接時は、あなたはどんな生活を送りたいですか、お互いの希望と仕事量と内容を調整しましょうよ、と話しました。今まで散々仕事ばかりやってきた訳ですから、また30・40代と同じような生活ではなくて、どんな生活を送りたいですか、という事で仕事の調整をしました。

「シルバーベンチャーの実態」

現在は、日本メダック株式会社を設立創業して、今年の6月から相談役になりました。第一種医薬品製造販売業という、これは東京都からもらうものなんですけども、製薬会社としての許可をもらっています。どんなものを扱っているかというのと、全て新薬で、リウマチ薬は、コロナにも関わらず、患者さんの臨床試験が非常にうまくでき、来月、厚生労働省に製造販売承認を申請することになりました。次に控えているのが、今準備中ですが、脳腫瘍の薬と骨髄移植前の前処理の薬です。今、代表をやっているのは、ファーマパートナーズという会社なんですけど、ここは、またコンサルティング一本の会社なんです。ここは、特に品質を確保するための国内の管理人ということを生業にしている会社です。

ファーマパートナーズ、実は日本メダックも似たようなものですが、スタッフの年齢と日常生活ということでは、最高齢79歳であり、表にあるように、仕事の割合はスタッフの人生の過ごし方を尊重して決めています。

後継者なんですけども、どういう方がいいかというと、意欲があっ

て、病気の一つ二つは構わないので元気な人、昔とった杵柄だけに頼らず進化を求めている人、好奇心を持ち続けている人です。この前、ノーベル物理学賞をとった真鍋さんのインタビュを聞いてみると、curiosity、好奇心という言葉がしきりに出てきましたが、好奇心を持ち続けることは大事なことです。

「おわりに」

相田みつをさんという、皆さん良くご存じだと思いますが、東京国際フォーラムの地下に相田みつを美術館があり、私は時々足を運んでおります。私も買った色紙には、「一生燃焼、一生感動、一生不悟」と書いており、特に「一生不悟」はいいなと思って、私の会社の机の後ろに飾ってあります。

まとめますと、私のやってきた歴史を話させてもらったんですけども、同じことをしろと偉そうに言っている訳ではなく、皆さんそれぞれ人生観をお持ちですので、これから人生設計、生活設計を色々考えるにあたって、ああ、こういう人もいたんだな、ということ、頭の片隅に置いていただけると幸いです。

第34回 (2021年)

関東支部同窓会
特別企画 写真特集

従来は、関東支部総会の後は、同窓会・懇親会を開催していましたが、今回は昨年に引き続きオンライン開催のため、特別企画として、部活動報告を開催しました。これは、我々の母校である高知学芸高校の生徒の皆さんが部活動の成果を発揮するはずの発表会やイベントの場が、コロナ禍によって中止や縮小になっていることを踏まえて企画し、現役の男子バレー部、ソフトボール部、剣道部、華道部の皆さんにご参加頂き、活動風景を紹介して頂きました。

最後に「学芸賛歌」をオンライン参加者全員で斉唱し、お開きとなりました。お開き後は、同窓会本部役員と同窓生の方々と、オンライン双方向での懇談が行われ、旧交を温めました。今年の第35回総会は、10月29日(土)に、一昨年・昨年に引き続き、オンラインでの開催を予定しております。オンラインを活かした企画を検討中ですので、奮ってご参加ください。



関東支部幹事会の皆さん



学芸高校からご参加の皆さん



部活動発表の始まり!



男子バレーボール部 挨拶



男子バレーボール部 活動



ソフトボール部 活動



ソフトボール部 活動



剣道部 活動



剣道部 活動



華道部 挨拶



華道部 活動



華道部 華活けバトル模様



SPECIAL
インタビュー

演出助手ができる役者、

ハリウッドを目指す！

はぎのー(はじめ)さん(42期)

学芸中・高ではバスケ、サッカーに勤しんだ萩野肇さんは、高校卒業後、「とりあえず、東京に行っているんな人と出会って来い」、その父の一言で上京。その後、はぎのー(はじめ)として映画、演劇に身を投じ、演出助手を経て公演をプロデュース。今後は海外での役者を目指して頑張っています。学芸高校同窓生の歌手、23期 久里きなこ先輩と同じく同窓生の映画監督、11期 内藤忠司先輩とお話を聞きました。(インタビューセットアップ…31期 西田順也、36期 藤原清幸)

<はぎのー(はじめ)さん PROFILE>

- ・本名：萩野肇 (42期)
- ・生年月日：1982年10月12日
- ・出身：高知県香南市(野市町)
- ・Movie
 - 「お嬢ちゃん」(2019年)
 - 「半径3メートル以内の片隅で」(2019年)
 - 「事故物件」(2018年)
 - ※みやざき自主映画祭2020 最優秀賞(3分作品賞)受賞
 - ※恵那ショートムービーコンテスト(エナデミー賞2018)グランプリ受賞
 - 「僕と彼女はボタンのかけ違いをいつもしている」(2018年)
 - 「キャバ嬢と死者と50」(2018年)
 - 「陽にあたるどころ」(2018年)
 - 「男と女とそうじゃない人」(2018年)
- ・TV
 - BS12「課長バカー一代」(2020年1月)
 - EX「検事・悪玉」(2016年3月)
- ・Stage
 - テアトロコント the pillow talk「捕陀落渡海船、転覆」
 - 作・演：むつみあき ユーロライブ(2018年)
 - 寸劇「梅子のはなし」作・演：磯崎たまな
 - 酔民酒場シャバダバ(2017年)
 - ハギーブルーム「断絶/接触」作・演：芦塚諒 早稲田 theater option(2017年)
- ・詳細プロフィールは、下記 URL をご覧ください。
<https://gritagency.jp/actor/1462/>

◆小学校から学芸へ

久里：はぎのさん、

高知学芸高校何期生でしたっけ？

はぎの：僕、42期ですかね。

久里：小学校は何小学校でしたか？

はぎの：小学校は野市小学校です。

久里：今、香南市になった野市町？

はぎの：そうですね。

久里：じゃあ、お生まれも野市町？

はぎの：そうですね。

久里：学芸は中学校から？

はぎの：中学校からです。

久里：汽車通？

はぎの：そうですね。ごめんまで行って、ごめんから汽車に乗ってました。

久里：野市からごめんまでも

結構あるでしょう？

はぎの：親が送ってくれました。

たまに自転車で行ったりとか。

久里：土讃線って1回乗り過すと

とんでもないよね。今日学校休むか、

くらいのね。(笑) JRの朝倉駅

で降りてそこから学校ね。朝倉駅に

自転車停めっぱなしで？

はぎの：そうですね。昔は、駅前

TSUTAYAがあつて、その裏

側が駐輪場だったんですよ。

久里：小学校の時は、何かサークルとか部活とか入ってたんですか？

はぎの：学校のバイオリン部とか入ってましたね。

久里：へー、そんなのがあったの？

小学生でバイオリンってなんかちよつと普通じゃなくないですか？

はぎの：なんでか記憶ないんですけど、バイオリンやってましたね。(笑)

久里：へー、野市小学校に

バイオリン部があつたの？

はぎの：たまたま、音楽の先生がバイオリンに精通していて、5〜6台

のバイオリンが野市小学校にあつて。先生が変わって、代わりの先生

になったら、僕がお気に入りバイオリン使えなくなつて・・・反発

してやめちゃいました。(笑)

久里：何年ぐらい

やってたんですか？

はぎの：1年ぐらいですかねえ。

久里：1年でどのぐらい上手くなる

もんなんですか？最初はノコギリ引

くみたいな音でしょう？

はぎの：人前で発表会やったことな

いですけど、週に1回の部活では弾

けるようになりましたよ。吹奏楽部みたいな毎日毎日練習してたわけじゃないですけど。ピアノも小学校3〜4年ぐらいかな、やってましたけどね。

内藤：バイオリン弾く役をやつてと言われたら、できるの？

はぎの：いや、もう小学校からやってないんで・・・(笑)

内藤：音は後から入れるから。(笑)

久里：女の子の兄弟が

いらっしやるんですか？

はぎの：いや、男4人兄弟です。

僕、長男です。

久里：他の3人の男兄弟も、お母さんが何か音楽やらせてたんですか？
はぎの：そうですね、3番目まではやらせてましたね。4番目はやってたかなあ。

久里：男4人兄弟って珍しいですね。たぶん女の子が欲しかったんでしょね。お父さんは何されてたんですか？

はぎの：高校の教師やってました。

久里：男の子4人育てるって結構大

変ですよ。中学受験、6年の時は大変じゃなかったですか？

はぎの：小学校5年から南国市の「いもこじ」っていう塾(いもこじ

学舎 <https://www.imokoji.com>)に通つて

て、あの辺だと有名なんですけど。そこに行く人は大体みんな学芸に行

きましたね。

久里：そこに通うことになった

きつかけは何なんですか？

はぎの：親に「塾に行かせる」って言われて、「嫌だ」って言ったら、

その当時欲しいファミコンのゲームがあつて、そのファミコンのゲーム

を買ってあげるからあの塾行きなさい、みたいな感じで。(笑) もう安

易な感じで「わかった」って言つて、後から後悔しましたね。何か厳しく

て、成績そんな良くないし。(笑)

久里：今ね、いもこじ学舎の

ホームページ見てみました。

はぎの：みんな正座してるんすよ。

久里：板の間に正座？

はぎの：そうですね。スパルタでした。

久里：でも受かったとき嬉しかった

でしょう？

はぎの：嬉しかったっすね。

受かってると思つてなかったんで。

久里：でも6年間、野市から朝倉までくるのは大変じゃなかったですか？

はぎの：親が送り迎えしてくれてたし、電車乗ったら寝てたんで。

久里：そっかあ弟たちもいるのにね、親もよく送り迎えしてくれましたね。学芸時代は部活は何をやつたらっしやいました？

はぎの：最初バスケットやりました。中1・中2バスケットやって、僕が中3

の時に4年後ぐらいにインターハイを高知でやるって決まって、その時に中学校にサッカー部ができること

になって、中3からサッカー部に入ってますね。それまでサッカー部

は高校だけしかなくて。僕、一番やる気があつたんで、別に一番上手

いわけではなかったんですけど。中学サッカー部のキャプテンだったんですよ、初代。

久里：すごいすごい。

はぎの：中学2年の後半は、高校生に混じつてやってたんで、1人だけ。

なんかそういうのもあつて。

久里：へえ。で、高校総体には行けたんですか？

はぎの：いや、学芸は、僕が在籍してるときは弱くつて、ベスト16とかです。

久里：その後強くなったりとかは

はぎの：その後強くなって、1回全国行つたんじゃないかな。準決とかまで行つて、決勝とかまで残つたりとか、ベスト4だったりとかが、そういうときもあつた気がします。卒業した後の話ですね。(笑)

久里：ふうん。そうなんだ。でもキャプテンやってたらモテたん

じゃないですか？

はぎの：いや、でもそんなには。なんか僕がキャプテンやってるつてこともみんな知らなかったりしますんで。

久里：でもモテるでしょう、モテたとは言えないよね、自分ではね。(笑)

はぎの：バスケットかバレーの方は、体育館で男女で一緒になったりするからモテたんじゃないですかね。

シュート決めてるときとかの瞬間を見れるから、「カツコイイ！」みたいなになると思っんですよね。

久里：「はぎの〜」みたいなね。
はぎの：サッカー部はグラウンドで隅っこに追いやられてたんで。

久里：うん、そうかそうか、ソフトボール部がたぶん一番有名だったからね。在学中はスポーツ燃えた感じですね。

はぎの：本当をいうとあれなんすよね、野市はサッカー強かったから、小学校のスポーツ少年団のときから。どちらかというと、中学受験なんてやめて、少年団入ってサッカーやりたかったんですよね。

久里：そっかあ、なのに気がついたら、学芸に通っていて。(笑) しかもサッカーだしね。しかもベスト16だったという。ははは。そうですか。なんか中学時代の他に思い出とかない？高校でもいいけど。例えば修学旅行とか、イベントとしては如月祭とか。それからあとクラスマッチ。はぎの：運動神経がいいクラスだったんで、クラスマッチ強かったっす。

久里：何やってたの？ソフトボール、バレーボール、バスケの3つのうちのどれ？

はぎの：僕らのときはサッカーもあつたんで、サッカーやってました。

久里：4つあつたんだね、第2グラウンドで？

はぎの：いや、第1グラウンドで、あのプールの目の前のコートでやってましたね。

久里：そのときの写真とかないのかな？あればね、あさかぜに。あつたら面白いよね。夏は帰らない？実家には。
はぎの：帰らないっすね。

久里：ちよつとコロナがね、あれだから。東京から帰ると、ちよつと白い目でみられそうやんね。最後はいつ帰つたの？

はぎの：4年とか5年ぐらい前ですかね。

久里：そんな帰ってないの？コロナになる前も何年も帰ってないのね。
はぎの：はい。5年にいっぺんぐらいしか行ってないっす。

久里：そうなんだ。もうちよつと帰りたいとか、親が「帰ってこい」とか、ないですか？

はぎの：本当は一昨年のコロナになりそうなときに帰ろうと思つたんですけど、なんか撮影とかがあつて帰れなくなつて、そこから延ばし延ばして、もうちよつと帰れないなみたいになつて。

久里：学芸時代の何か

印象的な思い出は？

はぎの：もう、ほぼほぼサッカー漬けだったんで。自分で、サッカーの教本みたいなを買つて、練習メニュー決めてやってました。「サッカークリニク」って本があつて、毎月買つて。なんかプロがやってる練習方法が載つてて、自分でサッカーノート作つてましたね。毎日、部活に持つてつて、後輩に「今日これやろう」みたいな。

久里：へえ、すごいね、そんな、本を買つてきて、後輩に「今日あれやるぞ」って、めちゃめちゃ立派だね。すごい、なんか燃えてた感じよね、サッカーに。

はぎの：僕辞めた後に、後輩が、「萩野さんいないと練習つまらないんで

辞めたいんすけど」みたいな。

久里：影響力強いね。

はぎの：体育系の大学行こうと思つて、サッカーの実技試験があるから鈍ったら嫌だなと思つて、野市は社会人のチームも強かつたんで、飛び込みで「やりたいです」つつつて練習参加して。

久里：うんうん、すごい。社会人のリーグに高校生のときに出たの？
はぎの：何試合か出てました。

久里：やっぱり好きだけあつてね。で、体育大学は受験はしなかつたんですか？

はぎの：しました。中京大学と、大阪体育大学は何か推薦枠で受けに行つたんすけど、受からなくて。結局どうしようかって言つてたら、父親が高校の教師なので、もうなんか、「とりあえず東京行け」って言われて。大阪に漠然と行きたいと思つてたんすけど、やっぱり東京だと北の方からも人が集まるし、西の方からも人が集まると親が言つてたんです。大阪はやっぱり西の方からの人しか集まらないから東京でいろんな人と交流した方がいいって。

◆いざ上京!

久里:なるほど。へえ、で東京にはぎの:そうつすね、それで東京行って、予備校通わなきゃいけないから自分で探して御茶ノ水の駿台予備校に自分で願書を取りに行つて、はい。

久里:そうか、

そこから先サッカーは?

はぎの:大学入つてサークルで

ちよこちよこやつてました。

久里:ふうん。大学は

何学部だったんですか?

はぎの:文学部でした。

久里:あら、また全然違うあれですね、文学部って。専攻は?

はぎの:日本文学です。

久里:もしかして俳優になるのは、そこから辺から何か影響があったりします?

はぎの:高校のときに1個上のインディーズ映画に詳しい先輩にインディーズ映画の面白さとかも教えてもらつて。当時、その人は帰宅部で、結構なおしゃれな方で。1個上の先輩なんですけど、長谷川さ

ん(学芸41期の女優、長谷川千紗さん、あさかぜ32号「各期の声」掲載)と同じ年の人がいて、その人に自主映画というか、塚本晋也監督の「鉄男」とか、あと、「鳥肌男と桃尻女」っていう映画があつて。なんかファッションモデルから、そういうインディーズ系の映画俳優にシフトチェンジしてるような人が多くて、たとえば永瀬正敏、渋川清彦、浅野忠信とか、その辺に高校生

生のときから憧れがあつて。あと「asayan」って雑誌が流行つて、「asayan」の表紙とかを、僕がさつきお伝えした3人とかが飾つて、「かっこいいな」みたいになつて。その先輩の影響で服も好きだし、とかがあつたりして。

久里:そこから、

自主映画に興味を持つて。



はぎの:そうですね、高知にずっといると俳優なんかになれる方法すらわからなかつたんで。

久里:演劇部には入らなかつたんですか、学芸で。

はぎの:演劇部は入らなかつたつすね。はい。演劇「ダセ〜」と思つてたんで。(笑)

久里:俳優つて演劇じゃないの?

はぎの:結局、洋服から入ってるんで。(笑)

久里:うん。うん。

ファッション的なことからね。

はぎの:ファッションアイコンの人が演劇やつたら「演劇カッケ〜」になつてたと思うんですけど、ファッションアイコンの人が映画やつたら映画かっこいいなつてなつちやつて。演劇見たのは東京来て初めてつすね。

久里:何見ました?最初。

はぎの:いつちゃん最初に見たのはシアタートップスっていう劇場で、劇団道学先生かな。

久里:トップスつて

どこだったつけ?

はぎの:新宿です。紀伊國屋の裏一度なくなつて角川松竹とかのものになつて、一昨年ぐらいに復活したんですよ。シアタートップス。

久里:高校のときの先輩の影響もあつて憧れたモデルから芝居に行つた人たちもいて、親からも東京へ行けつて言われて、「東京来たらまずちよつと芝居見に行くか」っていう感じだつたんですか?それともたまたま観ただけ?

はぎの:いや本当、たまたまです。それもバイト先のコンビニの先輩が、「見に行かない?」つて誘つてくれて行つたからかなあ。昔から、いろんなことに興味は持つて、フットワーク軽かつたんで、誘われたら「行きます」つてついて行くよつだつたんで。

久里:映画もいっぱい観てたんですかね?大学時代から。

はぎの:そうすね、渋谷の、もう今ないんですけど、シネマライズっていう映画館があつて、「ディスタンス」つていう是枝監督の2作目なのかな、2000年ぐらいにやつたやつがあつて。伊勢谷友介さんとかが出て。ほぼ寝てましたけ

ど。(笑) 今だと、スマホ開いて、映画館検索したら、この映画やっているから観に行こう、てなるじゃないですか。昔って、「ぴあ」とか雑誌あつたじゃないですか、ああいうの見ないと、ミニシアターの情報なんて入ってこないですよ。テレビでCMやってるわけではないし。1人で行ったんですけど、何でシネマライズって映画館がある場所にあるってわかって、「ディスプレイ」をその時間にやってるっていうのがわかって観に行ったのかわからないのが、未だにちょっと覚えてなくて。(笑)

久里.. そうなのね。大学在籍中にお芝居というか、役者になりたいっていう気持ちがあるんですか？
はぎの.. 頭の片隅ぐらいにあつて、大学中は遊んでました、ずっと。

久里.. 就職はされたの？

はぎの.. 僕、半期留年したんでその間に、サークルの4つ上の先輩が中古車販売の「オニキス」ってところで働いてて。インターンで半年やれば？って言われて、バイト感覚でやってみましたね。昼はそのインターン行って、夜はカラオケのバイトし

てみたいな。暇なんで1日働いてました。そこから正社員になって、2年間ぐらいやっただんですけど、営業部でなかなか数字が上がらなくて。23で正社員になって、25になったときに、「俺このまま30になってもこの仕事やんのかな？」とか思ったら「やんないな」って、そっからいよいよ今の方向(役者)に。小栗旬って俳優が同じ年なんですけど、「情熱大陸」で2週連続で小栗旬特集やってて、すごい輝いて見えたんですよ。日曜日の「情熱大陸」観て、月曜の朝、もう社長とこ直談判して「すみません、僕会社辞めます」って。(笑)

久里.. うわー、「情熱大陸」で小栗旬を観て、その次の月曜日にやめま

すって？

内藤.. 人生を誤ったね。(笑)

久里.. いや、いや、誤ってないでしょ。

(笑) へえ、情熱ですね。

いきなり辞めてその後は？

はぎの.. その時付き合った彼女と結婚したいって言ったんです。でも僕の親に反対されて結婚ができなくなつて、仕事もうまくいかないし、プライベートでもうまく行かない

し、割ともう自暴自棄になつて。それまで僕、親に反抗期なんてなかったんですけど、25になつて反抗してしまつて。ずっと良い子を演じてたというか、そんなに反抗せずに、「行け」と言われた進学校に行き、大学に入り、就職もし、みたいな。いい加減自分のやりたい事やろうと思つたら、「何したらいいんだろう?」「みたいになつて、「俺、仕事辞めて俳優やってみたいんだけど」って、彼女に相談したんですよ。彼女が反対したら、何か転職してでも社会人はやろうかなと思つて。でも彼女が「好きなことやってみたらいいんじゃない? 20代は。」て言ってくれたから、彼女の許可を得た次の日に、社長に直談判して「僕辞めます」って言いました。

久里.. でも自暴自棄になつても、今があるから、良かったね。その時のアドバイスがあつてこそですね。

◆いざ俳優の道へ!

はぎの.. オーディション雑誌開いたら、バーニングっていう事務所の養成所があつて、とりあえずそこ行くか! っ。

久里.. やっぱ養成所へ行くんだ。お笑いの人たちなんか経歴見ると、養成所ってあるもんね。養成所って言うのは、入学金を払えば誰でも入れるものなんですか? それとも、養成所に入るための何か審査があるんですか?

はぎの.. バーニングという養成所では審査はなかったです。先生もいろんな先生がつくんですけど、僕にしてくれた先生が演劇畑の先生で、割とスパルタで。もう本当スパルタすぎて、だんだん生徒減っていくんです。僕は1回社会人辞めて、腹くくって俳優っていうものに飛び込んだんですけど、周りの子は18とか19とかで、試しに俳優やってみるか、養成所入ってみるか、みたいな感じで。今でも演劇畑のその講師の先生と仲良いんですけど、僕は目の色が違つたって言っていましたね。

1年半目ぐらいから半年間、養成所の理事長が直接教えるレッスンみたいなのに志願して通わせてもらつて、理事長が最後打ち上げみたいなときに「君、ここに入つて何年目だい?」って言われたんで、「2年目です」って言ったら、理事長なのに「もうここは君のいるとこじゃないよ、やめた方がいいよ」って。(笑)

「やめて文学座とか新国立劇場の養成所とかに行った方がいいよ」って言われたんで、素直に受け入れてやめて、文学座とか受けたんすけど、そっちはガチでオーディションがあるんで、落ちて・・・「やべえ、もう俺、もう俳優続けられないかもしれない」って思ってたら、その時もうサラリーマン辞めてて、生活費稼がなきゃいけないことで、恵比寿に一風堂ってラーメン屋があるんですけど、そこでバイトして。

バイトの4つ上の先輩で劇団やってる先輩がいて、劇団はえぎわっていう劇団があつて。元々「大人計画」の松尾スズキさんのお弟子さんがこの主催で、野添さんっていうんですけど、その劇団の公演が2ヶ月後にあるから「お前手伝いに入れろ？することないんでしょ？」みたいな感じで誘ってもらえて、そこで演出助手みたいなことで手伝いに入らせてもらえて、そっからです、演劇の方にシフトチェンジ。

久里：演劇にシフトチェンジって、それまでやってたのは演劇じゃないの？
はぎの：それまでは、何かドラマとか映画に出たいと思って。

内藤：それは「映像」って言います。久里：あ、演劇は舞台のこと？
内藤：広くは演劇というけども、それを一応、映像と舞台とで大きく分かります。

久里：へ、テレビと映画は映像。劇場だったり舞台は演劇。ふくん。その演出助手って何するんですか？
内藤：雑用だよ。 (笑)

はぎの：もう本当にいろいろですね、音出しとか照明とか、稽古場でできること、小道具の管理とか。あと、稽古しながら、役者の動き方が変わっていくんで、たとえば、上から入るって言ったのが下から入ったりとかが、そういうのをチェックして、演出家もそれがわかんなくなってくるから、演出家にも伝えたり、俳優にも伝えたり。シーンごとに稽古していくんで、「その動きだと次のシーンおかしなことになりますよ」とか、僕がシミュレーションして伝えたりとか。メモしたりとか。

たぶんサッカーやってたときに自分でやってたこととか、社会人やってたのとかが活かしたかな。俳優みんなが演出助手っていうポジションはできないんですよ。僕はできた方なんです。



まあ、雑用だよ。ニヤニヤ

久里：じゃあ重宝がられたでしょう。はぎの：そうですね。やる気あるし。演出助手もできるし。

久里：演出家にならないかとか

言われなかったか？

はぎの：いや、その野添さんの演出が面白すぎて、そこで演出家になるとかも全然思わなかったすね。自分も俳優やりたいっていうのもありましたし。

久里：劇団はえぎわさんの演出助手

はやめたんですか？
はぎの：もう7、8年前ですかね、やめたのは。

久里：役者をやりたかったから？

はぎの：そうですね。僕29のときに初舞台踏んで、32ぐらいまでは、自分でも劇団のオーディションを受けて、受かって客演で出てたんです。「はえぎわ」って劇団は年に1回くらいしか公演やらないんで、その期間は演出助手として参加して。1年の残り9ヶ月で、2、3個、自分でオーディションを受けて劇団の公演やって、それで年間のスケジュールが決まりましたね。

久里：どこかの劇団に

所属はされてないんですか？

はぎの：結局、そうした所属はしなかったですね。

久里：29歳の初舞台はこの劇場のなんていうのに出られたのですか？
はぎの：いやもうね、劇場じゃなかったですね、西荻窪のアトリエ「がざびい」ってところで。駅から10分ぐらいのアトリエです。40人ぐらい入ればいいぐらいの。

久里…どんな役やったんですか、その時。
はぎの…ちよつとなんか
天然な高校生みたいな。

久里…29歳で高校生の役？

はぎの…はい。でも、高校の友達が見に来てくれて、「高校んときのお前だね」って言われて、役作りしなくてよかったって。(笑)

久里…高校時代の友達が見に来てくれたんですか？学芸高校の？舞台出るよって、東京に来てる高校の同級生とかに伝えてたんですか？当時Facebookとかないじゃない？

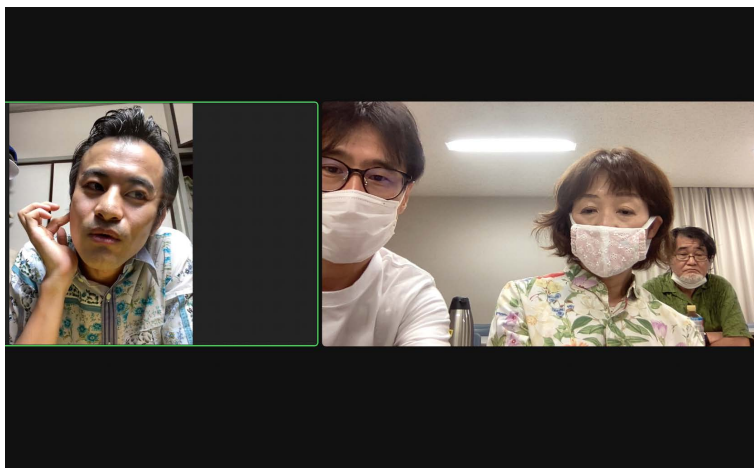
はぎの…そうですね、メールしてました一人一人。マメに連絡取る方だったんで。

内藤…29歳、今から12年前

mixiはあつたよね。

久里…初舞台踏まれて、32まで舞台でられて、その後は、今まではどう
いう活動されてましたか？

はぎの…ちよつと待ってください
い…ほんとに、自分がいつ何を
やったかみたいなの、すぐ忘れ
ちゃう。



内藤…後々のために作っておいた方がいいよ、ペーパーにして。

久里…そうだね、プロフィールは作つといた方がいいよ。

はぎの…プロフィールは作ってるんですけど、僕の頭ん中に入ってるんで。(笑)

久里…今もフリーなんです？

はぎの…1回「イイジマルーム」ってところに入ってたんです。2015年かな。「はえぎわ」で演出助手やったのが2011年の震災があつ

た年、それから2016年の5年間ですね。演出助手やりつつ、ちよこちよこ舞台に出てて、その時31とかになつちやつて、そしたらまた漠然と「これから30代どう生きようかな」みたいなことを考え始めて、で、その状態ですつと頑張つてもたぶん出たい劇団には出れないなと思つたり。シアターコクーンには出れないな、とか本多劇場出れないなつて思つて。

久里…その2つは結構メジャーな、みんなが目指すところなんですか？
内藤…イイジマルームにいるのは、渡辺いっけい、朝加真由美とかね。

はぎの…どうしようかなつて思つたら、バイトリーダーとか頑張つて生活が充実してるから良くないな、とも思い始めて。

久里…充実してると良くない？

はぎの…バイトの収入が安定してるし、バイトにやりがいがあると良くない、と思つて、またバイト辞めちゃうんですよ。急に朝起きて、店長に電話して、本当に突拍子もなく「すみません僕辞めます」つて。

久里…それはやっぱり俳優の方を本当はやりたいの、バイトの方が安定しちゃつて、そつちに流れていつちやつたらまずいつて思つたから？
内藤…友達にもいる。副業が安定してハングリーさが無くなつて、役者としていまい伸びない。
久里…へえ。もう本当に俳優になることがメインなわけですね。

はぎの…2013年ぐらいに、舞台やりまくつたらバイトもできなくなつて、家賃払えなくなつて、風呂なしアパートに引つ越したんですよ。でも、なんかやつぱり適応能力が高すぎて、風呂なしアパートも半年ぐらいたつたら別に慣れちやつて、風呂が無くても生活に満足しちゃつて。風呂ありのときより年間36万円ぐらい浮くからいつか、みたいな感じで。36万だから2ヶ月ぐらいバイトしなくても生きていけるな、みたいな感じで。また「安定してきてやばいな」と思つてバイト辞めたら、次の日ぐらいにFacebook見てたら、友達「付き人をやりたい人を探してます」つていう投稿がまたまグループのタイムラインののつかつて。でも誰の付き人とかつて書いてな

かったんですよ。付き人面白いかも
と思つてすぐ電話したら、渡辺いっ
けいさんの付き人でした。「車の運
転できる？」つて聞かれて、東京来
て車の運転なんてしたことなかった
んですけど、「うん、できる」つて言っ
て。

久里…(笑)

はぎの…それからレンタカー借りて
自分で練習して、半年間だけだっ
たんですけど、いっけいさんの付き人
やつて、舞台公演の送り迎えした
りとか。あと朝4時とかに起きて、現
場に6時とかに入ったりして、運転
手みたいなことをやってみましたね。

内藤…付き人上りの役者さん

多いでしょう。

はぎの…多いっすね。

久里…付き人つてすごい大変な仕事
だと思ふんですけど、なんかこんな
失敗をしてしまったみたいなのない
ですか？

はぎの…当時、日比谷のシアターク
リエっていうところで「おもしろい
女」っていう演目やってて、そっか
らいっけいさんを、横浜方面に住ん
でるんですけど、僕が1人で送つて

くつてことになって。ついに1人
で。銀座あたりから首都高に乗るん
ですけど、もうそんなときの記憶がな
いんですよ。緊張しすぎて。銀座
の辺りの首都高って合流車線が追い
越し車線なんすよ、そういうのも
あったりとか、あと、湾岸線との合
流地点が5車線ぐらいあって、端か
ら端に移動しないと、うまく横浜方
面車線に乗れなくて。もうほぼ初め
てだし、いっけいさんを1人後ろに
乗せて走つてるのも初めてだし、み
たいな。夜6時とか7時ぐらいでな
んか無茶苦茶混んでる時間で、だか
らもう本当覚えてなくて、気づいた
らいっけいさんちの目の前に車止め
てて、いっけいさんが「また明日よ
ろしくね」つて。

久里…でもまあ、事故らないで無事
に届けてよかったですね。必死よね。
それはね。

はぎの…初めてドラマの現場にいっ
けいさんを乗せていく日があつ
て、雨だったんすよ。現場に9時
着かなきゃいけないって言って、
Googleマップで最短距離を
調べたら、なぜか環八を通るのが最
短距離だと勘違いして。本当の最短
距離っていうのは、横浜方面から湾

岸線、首都高のつて、グルッと笹塚
が目的地だったんで、結局答えは首
都高乗つて笹塚に行くのが最短距離
なんですけど。でも僕は環八から
移動するのが最短だと思つてたん
で、環八で降りちゃったんすよ。朝
の環八、全然動かなくて、朝の9時
になったタイミミングで、まだ二子玉
ぐらいにいて。もうこれ全然動かな
いってなつて、すぐに事務所に電話
して現場に「遅れます」みたいになつ
て。・・・僕が現場に送る初日、大
遅刻しちゃつちやつて。1時間ぐら
い、いや30分ぐらいいっすね。一応
初めてだからって、30分前に着く
目標で動いてたんで、一応30分ハ
ンディキヤップあつたんですけど、ト
ータル1時間遅れたんですよ。

久里…そういうときつて、いっけい
さんはどんな方でしたか？やっぱり
怒ります？それとも穏やか？

はぎの…いっけいさん、最初遅れて
ること気づいてなくて。でも怒つて
なかったっすね、穏やかな人。「仕
方ないね、事務所じゃ電話して」と
みたいな。こっちはなんかもう、冷
や汗かきながらなんですけどよね。
でも雨で、現場も15分ぐらいい遅れ
て、結局トータル15分ぐらいい遅れ

で入れたんですけど。いやでも本当
に怖かつたっすね。クビになるかと
思いました。

久里…冷や汗だよねそれは。で、
イイジマルムに入つて、そこで

役者の仕事はもらつたんですか。

はぎの…いや、結局もらえなくて。
こっちとしては事務所に入るのは初
めてだったし、なんかいろいろオー
ディションとか出してくれてんの
かなと思つたけど、なかなかお仕
事ももらえないから、試しに僕のプ
ロフィールつてどんな感じですか
ねって送つてもらつたら、何か写真
1枚送つてくれつて。・・・そこで
はつと気づいて、「俺ここにいても
駄目なんだな」と思つてやめました。
2016年から2018年ぐら
いは自分で演劇やったりとか、人づた
いに出させてもらつたりとか。

久里…自分で演劇つてのは、

自分で本書いてつてこと？

はぎの…正確には、プロデュースつ
すね。作と演出をやりたいという俳
優がいたから、一緒に。でもその人
あんまりスタッフさんとかに声かけ
られない人。僕は以前、演出助手
良くできてたから、そういう人に僕



がお願いして、役者も僕と一緒にやりたい人集めて、役者をやりながら自分でプロデュース公演、みたいなことをやりました。

久里…どんな役やったんですか？

ストーリーは？

はぎの…宗教というかネズミ講みたいなのはまって、借金まみれになって友達に借金返してくれよってせがむ男みたいな。

久里…えー、それはどうでしたか？ やっててそういう役って楽しい？

はぎの…やってて楽しいとかないんですけど、もう必死にやりました。自分で公演やるわけですから。

久里…自分で、

脚本は書かないんですか？

はぎの…書かないっすね。

久里…じゃあプロデュースするときには、もう既成の台本を探してやるんですか？

はぎの…そうですね。

久里…一番やって楽しかった、またもう1回やりたいなっていう作品はありますか？これがはまり役だった、自分が今までやった「これがはまった！」っていう役は？

はぎの…何だろう。借金まみれがはまり役だったんじゃないですかね。

久里…ええ。

借金を返してくれの役？（笑）

はぎの…はい。そうですね、なんか世間知らずというか、世間知らずだけど何かに一生懸命になっている、哀れな滑稽な人です。滑稽な人をやらせると結構はまるみたいっすね。

久里…2018年以降は

どんな感じで？

はぎの…2017年に、「恋愛依存症の女」っていう作品の撮影があった、上映は2018年なんですけど。

久里…それは映画ですか？ドラマ？

はぎの…映画です。その作品に出れたので、自主映画の方に演劇からシフトチェンジできた。今、BSのドラマで「拾われた男」っていう松尾聡さんっていう俳優のエッセイのドラマ化があって、そのタイトルは「拾われた男」って言うんです。僕もいろんな人に拾ってもらって今があります。

2017年、DJ遊びみたいなのを下北沢でやって。クラブDJみたいなのをみんなで何か遊びがてらやるみたいな。貸切のビストロみたいなところにDJブースがあって、そこにみんながCD持ってきたりして、音源持ってきて、自分で曲繋いで遊ぶ、みたいな。人に聞かせて楽しむみたいなのをやって、お酒飲みながら。そのDJ仲間監督さんがいて、最初知らなかったんですけど、2、3回会って仲良くなったときに、「あの僕、俳優をやってます」「え、俺監督やってんだよね」みたいな話があって、何かあったら誘ってくださいって言うてたら、2週間後ぐらいに、「はぎの君、ちょっと現場来れる？」って誘ってもらったのが、その「恋愛依存症の女」。

僕、エキストラで呼ばれてると

思ってたたら、実はセリフがあって、しかも2人主役が2人芝居やって、4分ぐらいの尺の長いセリフのかけあいをするみたいなシーンで、途中その主役の人に「原田様いらっしやいました、いかがいたしましうか」とか「言われた資料出来上がりました」みたいに、その2人に割って入るセリフが何個かあって。

僕、それ知らないで行ったから当日覚えさせられて。1行2行しかないんですけど、僕が下手するとこの2人は4分のセリフが録り直しになっちゃう。そのプレッシャーがすごくて。僕ともう1人、そういう何かちよつとしたセリフを言わなきゃいけない人がいて、僕2番手だったんですよ。1番手の人が3回ぐらいミスっちゃって、僕まで順番回ってこないんです。僕はもうずっと構えてて、4回目この人がうまく行ったとして僕がミスしたら5回目だなどか思っちゃって。（笑）映像（映画）の現場初めてだったんで、演劇みたいに稽古を積んでからとかじゃなくって、その場でセリフ渡されて。その主役の2人は、もう自分でもリハーサルとかやってて完成されて

るじゃないですか。何かそういうもの
プレッシャーがありすぎて。僕は一
発OKだったんですけど。本当に
恐ろしいなって。映画の現場ってこ
んなことがあるんだって・・・

それがあの池袋シネマロサで上映
されるってなって、そんときに映画
館に行って、上演前の1ヶ月ぐらい
前からチラシ配りをやってたら、割
とその映画関係者さんとかと仲良
なったりして。みんなチラシ配りと
かやんなかったみたいで、やってる
と目立つ存在になってたみたいなん
です。「池袋でチラシ配ってたはぎ
の君だよね」みたいな感じで覚えて
くれる人が結構いたりして、「僕今
フリーで、頑張ってます」ってその
時に何か話しかけてくれた人とか、
仲良くなった人にプロフィール配り
まくってたら、現場に呼んでもらえ
るようになって。ちょこちょここと
ですけど。セリフいっこあるかない
かみたいな役なんですけど、でもいろ
いろ呼んでもらったりして、そっか
ら映画に出れるようになって。

あと2019年に、ENBUの
シネマプロジェクトっていうので、
「お嬢ちゃん」っていう映画にオー
ディションで受かって出たのが結
構大きかったかもしれないっすね。

「カメラを止めるな！」っていう映画
のENBUゼミナール。毎年新進
気鋭の監督さんと呼んで、ワーク
ショップオーディションをして、俳
優も選んで、映画を作っていくって
いう、そういうプロジェクトなんです
けど。「お嬢ちゃん」っていう映画は、
レッスン料をとってキャストイング
して映画を作るんです。ギャラを払
うんじゃないくて。

久里…え？ギャラをもらえるんじゃない
ないってことは、金を払って出る？
内藤…うん、だけど「カメラを止
めるな！」はそれで大ヒットした。
そこにでてた役者さんみんな売れ
ちゃったわけ。

はぎの…ギャラはもらえないんですけど、
いろいろな人と知り会えたりとか、
代表作何って言われたときに、「お
嬢ちゃん」って言えることで、「お
嬢ちゃん出てんだ！」って名刺代わ
りになったりとか、なんていうんす
かね、自分のプロモーションだった
り、付加価値がついてくるんで、自
分の宣伝費として、レッスン費3万
円安いか高いかをどう思うかなん
ですけど、僕はいいかなと思って。プ
ロモーションにもなるし、マーケ
ティングというか、宣伝にもなる

し、っていうことで、本当にそっか
ら仕事が続いたんで、そんときの
3万円は、払ってよかったとは思
うんです。

久里…でもこれだけ長くて、役者さ
んの夢をずっと追いかけていらっ
しゃって、どんな役者さんになりた
いですか。今40歳でしょ。40代どう
やって生きてこうかなって考えるタ
イミングじゃないですか？

はぎの…そうっすね。それはもう去
年も考えてて、40代はまた演劇やり
たいなと思ってる。渡辺いっけいさ
ん好きで、好きな人がやってるって
いうのがあるんですけど、いっけいさ
んは演劇もやるしドラマもやったり
とか、両方やってるんで、僕も両方
やりたいなと思ってます。

内藤…事務所は、
grit agency(グリット
エージェント)でいいのかな？
長谷川さんとは何で共演したの？
はぎの…長谷川さん、同じ堀井さん
って監督の作品に、別の作品ですけど
出てて。

内藤…堀井君の何？
はぎの…僕は「事故物件」ってい

うショートフィルムに出ています。

内藤…「事故物件」は観たよ。
長谷川さんに呼ばれて、堀井さんの
特集上映で観た。

はぎの…そうなんですか。それユーロ
ライブのやつですか？

内藤…そうそうユーロ。
はぎの…僕その時そこにいました。
(笑)

久里…ところで、この事務所の写真
(左写真)だいぶ前じゃない？

はぎの…そのグリットエージェン
シーって、CMの案件しかなくて
今んとこ。別にCMやりたくない
な、と思ったんで、事務所登録だけ
しています。



内藤…お金になるよ、バイト的にやればいいのに。ゼロ1個違うよ。はぎの…グリットエージェンシーはエキストラ会社みたいなもんなんので、だったら自分でいろいろ動いて仕事とってきた方がいいんで。

久里…そうね自分で作った方が早いよね、なんかね、プロデュースしてね。すごいすごいプロフィールに出演がどつと出てきてますね。(https://gritagency.jp/actor/1462/)

内藤…長谷川さんとは、

お互いに芸芸だつてこと

知らなかったでしょう？

はぎの…知らなかったです。

知ったのは去年ぐらい。

久里…すごいびっくりよね、でもね。

はぎの…お互い標準語だし、

土佐弁でないから。

内藤…俺が長谷川さんと知り合ったのは、映画の忘年会で、綺麗な女優だなと思って話しかけて、翌日メールが来て、芸芸出身ですって？ Facebook見たって。「芸芸に芸能界の人がいるって知りません



でした」っていうから、「いっぱいいるよ」つつつて、ミュージシャンは特に多いし、役者も結構いるし。きなことちゃんも元女優さんだから。久里…同じようなことをしていたので非常にわかりやすいです。

私も20代同じような感じでした。

はぎの…僕、割と演劇だと、何かおもしろがられるポジションにあてがわれるんで、なんかおもしろいことができるようになりたいなって、去年ぐらいから思つて、芸人さんがやれるようなポジション。阿部サダヲさんとか藤井隆さんとか。

久里…でもやっぱオーソドックスに普通のお父さんの役とかもできると面白いんじゃないですか。

はぎの…そうですね。でもそこって、結構競合があるし。

内藤…誰でもできる役はね、やっぱりいっぱいいるのよ。

この人にはこの役、というのが必要。久里…売りを自分で作つて

みたいですね。

はぎの…そしたら、やっぱリズム感とかテンポとかそういう何か間の良さとかは要るなと思つて。最近ポイトレ通い出したりとか、あとやっぱ、40になって身体的にどどん衰えてるから。

久里…早くない40で？

はぎの…でも20代30代からしたら、やっぱり自分がイメージして動ける範囲が全然違うんで、ヨガを始めてみたりとか。あと、コントやってみたいなと思つて。今年、芸人さんに混じつてコントの稽古したりとか。こないだ、たまたま「キングオブコント」の1回戦一緒に出てくんないかって誘われて。実は昨日1回戦だったんですけど、落ちちゃつて。(笑) やっぱり難しいなって。

久里…それは誰かと、

コンビを組んで？

はぎの…トリオです。3人で。主催つていうか、「私もちよつと表現をやつてみたい」って言つて手をあ

げた人が映画のライターさんで、女の子の人なんですけど、30ぐらいの。コントだったら2〜3分だし、そんなにハードル高くないかなと思つてやりたいって。そこに映画監督の大崎さんつていう人がいて、その人が2番手に乗ってくれて、その後3番手にもう1人誰かつて言つたときに僕をあてがってくれて、その3人で。

久里…ちようどバランスよく、

書く人、監督、役者が

ちゃんと3つ揃つてね。

はぎの…その女性の映画ライターが書いた台本が4分ぐらい。それをみんなで試行錯誤しながら2分にまとめて。動きとかは僕とか大崎さんつて監督さんが、「こうした方がいいんじゃないか」とか、「もつとお客さんの方、向いてこのセリフは言った方がいい」とか演出をつけて、昨日やつたんですけどやっぱりちよつと難しかったですね。

演劇のお笑いと、コントの笑いつて、やっぱ違つて難しいんですけどね。もう畑が全然違くて。昨日のコントだったら大声上げて、なんかくだらない事言つてる方が受かったりとか。結局、賞レース向けのネタと劇場におろすネタつて、やっぱ

ちよつと違つらしいんですよ。コントの2分でちゃんとお客さんに笑いを出すネタと、本当は10分とかかけていろんな伏線張つてやりたいっていう演劇の笑いがあつて、そういうのとかもわからずに出ると、やっぱり勝ち方がわからない。勝ち方があるんですよ。

久里：今後は、そのお笑い系、おもしろ系に行こうと思つたんですか？
それとも、そっちは畑が違ふなと思つたんですか？

はぎの：いや、でも何か畑違つけど、やり方はわかつたんで、ちよつと体験できたから、また誘われたら出ようかなと思う。結局、今、芸人さんとかでも歌がうまければミュージカルとか出るじゃないですか。

久里：歌はどうですか。

はぎの：歌は、それなりつすね。

久里：でも、声が

良くてらつしやるから。

はぎの：いやいやいや。(笑)

内藤：歌を極めて、

ミュージカルの分野とかもまたね。

はぎの：そういうのは本当30代では考えてこなかったんですけど、でもな

んか、別にその道を否定することもないなと思つて。ここ半年ぐらいで結構いろいろやってみればいいかなと思つて始めたことが多いつすね。コントにしても、ボイトレも。

久里：踊りは？スポーツやったらね、サッカーやつてたんだから動けますよ。

内藤：殺陣とかはどうなの？

はぎの：ちよこつと習つてました。でも、殺陣と乗馬は、「関ヶ原」っていう映画を見たときに、やめようと思ひました。

内藤：「関ヶ原」はさあ、小劇場の役者さんいっぱい出てるじゃん。

はぎの：でも結局、ずっと習つてたわけじゃないんで、その37・38から初めて50手前で乗馬できるようになつたとして、お芝居ができないと、馬に乗れるつてだけでは僕の本意じゃないなと思つて。

内藤：ちゃんとした映画はね、芝居がよければ、馬に乗る役だつたら、乗馬のレッスンしてくれるよ。

はぎの：そうなんすよ。お芝居うまければ、映画の制作側から「乗馬の練習してください」って時間与えら

れて、お金も与えられて練習できるなと思つてまして。だから別にそこにお金と時間をかけるんだつたらお芝居の方にお金と時間をかけようと思つてやめました。だつて、殺陣だつて、岡田准一くんみたいにあんなにできないなと思つて。できないつてことは、斬られ役に回るのがと思つたときに斬られ役やりたくて10年殺陣はちよつと習えないなつて。

内藤：斬られ役の方が能力要るのよ。主役は立つて振り回すだけでいい、岡田准一は特殊で、主役はもう型を決めれば周りが勝手に斬られてくれるから。

久里：今やつてらつしやる役者の活動を、ご両親は応援してくださいますか？

はぎの：実は「お嬢ちゃん」つて映画公開したときまで内緒にして、それ以前は実家になかなか帰れなくて。僕が30ぐらいのときに、弟の結婚式とか行つたんですけど、その時も席に仕事とか役職とか書くじゃないですか。ああいうのも26歳の時に働いてた会社の名前と役職とか。全然ばれなくて、実家帰つても「最近仕事どう？」「ああ、順調順調」みたいな、そういう嘘を10年間つきとおしてま

した。
久里：え、その「お嬢ちゃん」の映画に出て、ご両親知つたときの反応はどうだつたんですか？

はぎの：めっちゃくちゃ

びっくりしてました。

久里：でしようねえ (笑)

はぎの：10年間、ずっとサラリーマンやつてると思つてたから・・・「へ？」みたいな、「嘘やろう？」つて。なんか人は本当に驚くと反応薄い感じになつちゃうんですね。

久里：(爆笑) お父さんもお母さんも両方とも？それはすごいねえ。今、プロフィール見たらさ、ズラ〜って作品が出てるから、「ちゃんとやつてたんだね」つて思つてくれますよね。

はぎの：あと去年、六本木に土佐料理屋があつて、「しらすや」かな。高知の「一や(いちや)」つていう洋服屋さんあるじゃないですか、あの若社長さんと大学のとき遊んでたコネで仲良くなつて、その「しらすや」に連れてつてもらつたんですよ。行つたら満席で、ちよつと30分ぐらい外で待たしてもらつたら、入れ違いで自民党の中谷元さんが出

てきて、そこに付いてた高知新聞の記者さんで五十嵐さんって人もいて、その人にプロフィール渡してたら後日連絡が来て、「高知出身で東京で頑張ってる若者」、みたいなことで取材させてくれて言われて。その取材してもらったやつが去年高知新聞に載って、その時は親も喜んでました。

久里..良かったね。

内藤..俺も取材を受けたよ。高知出身で映画界で頑張っている人って。

久里..たぶん私も出た、それ。(笑)

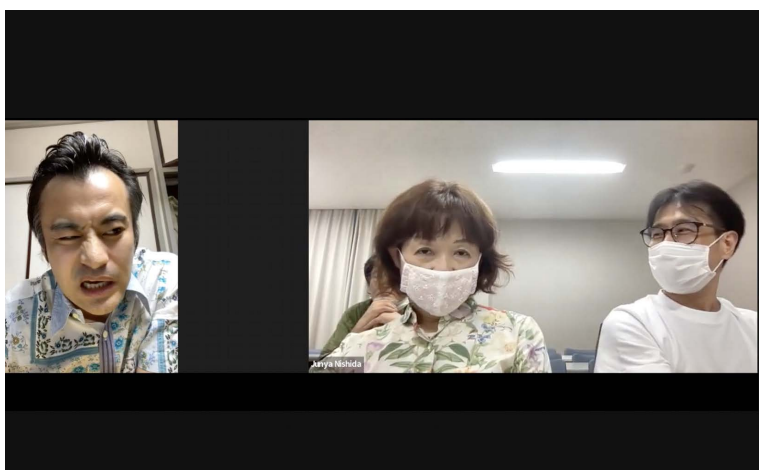
久里..それでは、ここで将来の夢をドンとおっしゃってください。あるいはこれだけは言っておきたい、これだけは載せてほしいとか。あとは同級生にメッセージでもいいし。

はぎの..海外でもやりたいなと思って。ハリウッドとかでお芝居やりたいですね。今、だんだん人種差別もなくなってるし、偏見とかで「あいつには仕事振らない」みたいなこともだんだん無くなってきて、アジア人にも割と門戸が開いてて、英語さえ喋れば日本人役として日本語のセリフでお芝居して、監督さんとかスタッフさんとかと英語でやりとりができれば行けるんじゃないかと

思ってる。今40なんすけど、今から10年間英語を勉強して50で喋れるようになってれば、海外に行けるんじゃないかと思ってる。だから今、英語の勉強して英語のアクティビングのレッスンをちょこちょこ受けてるんです。

久里..すごいね、大きな夢ですね。英語の勉強中で、ハリウッドでお芝居をやりたいって。

はぎの..今、2、3年後目指したら、



ちよつと無理かもしれないって思うんすけど、10年って言われたら50になったときなら10年あるなと思ってる。そしたら別に焦らない。

久里..今行った方がいいかも。

英語できなくても。

内藤..いや、ハリウッドはね、

英語できないと無理。

はぎの..はい。40代どう過ごすかになったときに、それもあたりだなと思ってる。いろいろやりたいこと見えてきたし、やんなきゃいけないことも見えてきたんで、夢を語るのがちよつと恥ずかしかつたんすけど、そういう夢を持つと割と世界広がるなと思ってる。それはいいことだなと思いました。

久里..役者を通じて、

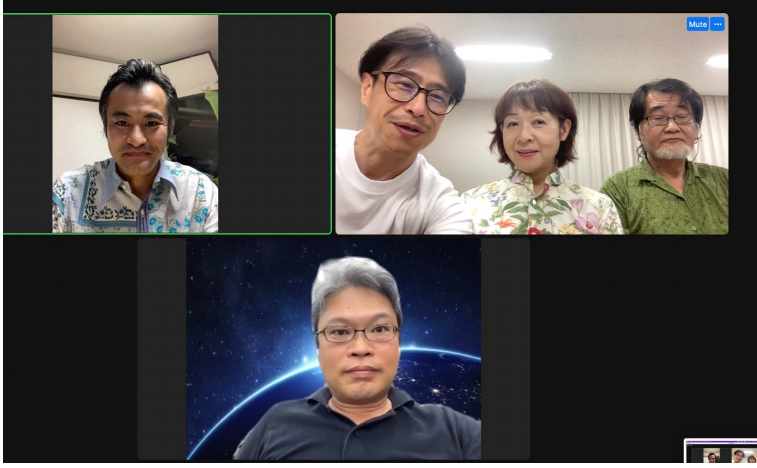
伝えたいメッセージはありますか？

はぎの..いや、そんなのないっすね別に。なんか最近、思っんすけど、別に自分にその気がなくても、実際に僕の出てる映画とか演劇を観に来た人が自分のこととして思ってくれることはあると思うんで、僕のほうに何か伝えたいメッセージが無くてその役を一生懸命やることで、観てくれた人がいろいろ自分のことだよ

うに思ってくれたりとか、例えば僕が昔の高校生役をやってる姿を見たときに、「なんか高校生の自分を思い出してなんかよかったわ」とか言ってくれただけでも、その人にはメッセージになってるんだなと思いますね。だから、自分にその気でもメッセージはないけど、でもそれでも受け取ってくれる人はそういうのか、そういうメッセージを受け取ったと思ってくれてるんで、それは、だから結局、俳優頑張ること、そういうやりとりが生まれるのかなと思ってる、ちよつとうまく説明できないんですけど。だから結局僕は俳優頑張ることしかそういうことができるかなと思って、一生懸命切実に演じることで、誰かが自分事にしてくれたら嬉しいな、っていうことですかね。

久里..ありがとうございます。何か宣伝はない？ちなみにこのインタビューがあさかぜでみられるのは9月です。9月上旬以降に何かコマースシャルがあったら。

はぎの..4作品(後述)が、9月末から年末上映される作品です。よろしくお願ひします！



『どこのつまり』（2022年）
『優しさのすべて』（2022年）
『親のスネの味』（2022年）
『乾いた鉢』（2022年）

久里…たくさんいろんなお話を伺えて、楽しかったです。同じ芸芸同窓の方が、こんなにお芝居で役者さんやってらっしゃるなんて。またコロナが落ち着いたらリアルでお会いしましょう。

はぎの..はい。ぜひよろしく
お願いします。

各期の声

経済記者一筋50余年、
ウクライナ戦争を考える

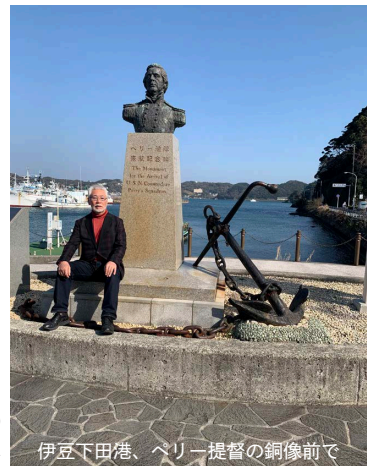
6期 田村秀男

1970年に大学を出て新聞社入社以来、半世紀以上もの間、現役の経済記者を続けています。なぜ経済一筋か、思えば芸芸高2・3年の担任で世界史の上田博信先生の警咳に接したことでした。

戦争に動員され、身内を失った私たちの問はず語りの悲惨や苦難を知る戦後生まれとして、なぜ戦争が起きるのか、と考えてしまいます。上田先生が語る歴史の流れから、何か人々と国家を動かす大きな動因があるのだろうか、それは何かという問題意識が湧いてくるのでした。

大学で経済学専攻としたのは、経済を深く知れば戦争の法則みたいなものが見えるのかな、といった漫然とした期待によります。しかし経済学の限界は明らかです。そこで経済記者の道を選びました。社会、政治担当よりも、時代を根底から知る上で有利との直観によります。

記者としては機会に恵まれてきました。1970年代初めの公害問題、



伊豆下田港、ペリー提督の銅像前で

ニクソンショック、石油危機、80年代のプラザ合意、平成バブル、90年代の平成バブル崩壊、アジア通貨危機、香港の中国回帰、今なお続くデフレ不況突入、2000年代以降の同時多発テロ、リーマンショック、中国経済の急膨張、そして、新型コロナウイルスショック、ロシア軍によるウクライナ侵略と、重大な危機の現場に居合わせる事ができました。

ここで、ウクライナ戦争の時代的意味を考えてみます。

ウクライナ戦争は「帝国」再興を狙うロシアと中国による、米国の世界覇権の切り崩しです。米国覇権は基軸通貨ドルをベースに民主主義と人権の西欧流価値観をグローバル化させたのです。

ロシアにとつてみれば、エネルギー、食糧ともドル建てで相場が決まり、米国の金融政策に翻弄される

限り、ロシア帝国の再興は困難です。中国のほうは世界のモノ供給の元締めになったのですが、ドル金融に依存している限り、米国の価値観の重圧を跳ね返せない。米国のドルによる世界支配力を弱めるうえで、露の専制主義リーダーは格好のパートナーなのです。ただ、西側から受けられる金融制裁のためにロシアの衰退は避けられません。

日本はどうすべきでしょうか。問題はロシアよりも膨張する中国の脅威です。それを抑止するためには、過去四半世紀も続くデフレとゼロ成長から脱し、中国依存を避けることです。同盟国米国は内向き志向が強くなり、軍事面では必ずしも頼りにはできません。ドル基軸を支えている日本は、米国への政治的発言力を強めるべきでしょう。

東海道五十三次踏破記

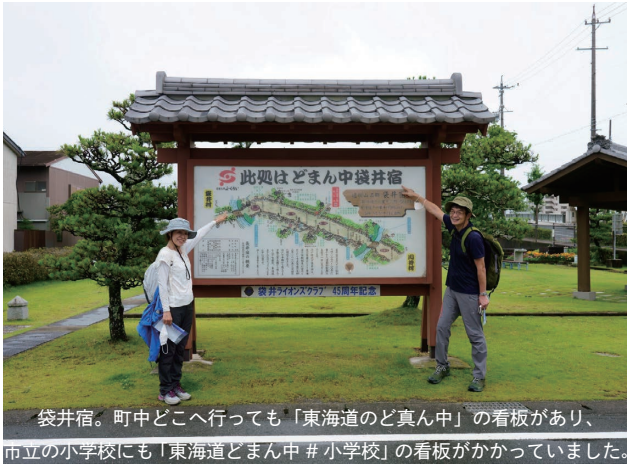
18期 浜崎泰史

コロナで世間が自粛ムードの中、ある日突然「東海道を歩きたい」と妻がつぶやいた。ネットで検索したところ、踏破した人たちの記録とともに「ちゃんと歩ける東海道五十三次」という攻略本があることを知り、以下のルールを決め、実行に移した。

- ①京都三条大橋から江戸へ下る。
 ②月に1回(1〜2日)は歩く。
 ③桜が満開の時にゴールの日本橋に到着する。

④修行ではないので無理はしない。

初回は2020年9月。京都三条大橋から草津までの約26km。東海道上中藤栗毛の弥次さん喜多さんの像の前で記念写真を撮り東海道を東へ歩き始めました。宿場間に何もない滋賀県、雪の鈴鹿峠、七里の渡し、キャベツ畑の中を延々と歩いた二川〜白須賀、沿道の桜の花が途切れなかった袋井周辺、意外ときつい小夜の中峠、滑って危ない金谷の石畳の坂、濁流が流れていた大井川、ほぼ一日



袋井宿。町中どこへ行っても「東海道のどまん中」の看板があり、市立の小学校にも「東海道どまん中#小学校」の看板がかかっていました。

中、富士山を見ながら歩いた蒲原から吉原、とつてもきつい箱根越え、そして、長かった道中の最後の日は、川崎宿から日本橋までの約20km。川崎を出発したときは黙々と歩いていったのですが、旧東海道が馴染みのある第一京浜となり、かつて住んでいた品川宿を歩いたときには頭の中は懐かしさでいっぱい。さらに銀座から日本橋が見えたときには胸に熱いものがこみ上げてきました。日本橋の袂にある桜は十数年前よりもずっと立派になっていて、満開の花で我々を迎えてくれました。2022年3月29日のことでした。

京都三条大橋を出てから1年半、全16回、延べ25日で踏破しました。主に二人で歩きましたが、時には友人と歩いたり、友人宅へ泊めてもらったこともありました。道中、都市部は別として、宿場町は昔の風情を残しているところが数多くあり、昔の旅人の雰囲気味わえたことには感動しました。また、各地の美味しい食べ物や宿場町に残る酒造場で買う美味しい日本酒も楽しみの一つでした。

江戸時代の人は2週間くらいで歩いたとのことですので、昔の人はずいぶん健脚だったんだなと感心しま



今旧街道の趣を一番残していた「関宿」の街並み

した。時間のある方は歩かれてみてはいかがですか?とても楽しいですよ。

◇◇◇
 もう一度授業受けたい、魅力ある先生たち

35期 大西 史晃

35期の大西です。47歳になった今、全国紙で採用担当の責任者をやっています。紙媒体の人氣が落ち、部数減に歯止めがかからない中でも、「新聞記者になりたい」「ジャーナリストの道に進みたい」と、毎年多くの若者が採用試験に挑戦してくれま

す。コロナ禍においても、今の若者はボランティアや議員事務所でのイ

ンターンといった様々な活動をしてきたことをアピールし、自分を売り込みます。その行動力に感銘を受けつつ、自分が大学生の頃は随分のんびりしていたなあと、時折昔を懐かしむこのごろです。

生まれは須崎市の山奥です。学芸へは中高6年間、汽車で通いました。毎朝6時前に起き、軟式庭球部(当時)にも入っていたので帰宅時はだいたい真つ暗。今では絶対に耐えられないであろうハードな生活を続けられたのは、それを疑問に思える余裕がなかったのと、部活顧問だった尾崎先生の厳しい鍛錬により、体力だけはしっかりとついていたおかげです。

この汽車通学は、勉学の面では好都合でした。試験期間中などは、行きも帰りも車中で教科書を開き、車両の揺れのせいか勉強に集中できました。志望していた大学にも合格することができ、尾崎先生や、現校長で当時担任だった橋本先生が自分ごとのように喜んでくれたことを覚えていきます。

学芸での勉学を振り返ると、プロ意識を持ち、教えることが大好きな先生方がそろっていたように思います。ウンチクも面白く、もう一度、



今夏の帰省で、久しぶりに実家の稲刈りを手伝った

授業を受けてみたい先生方が多くいらっしやいますし、それが生徒たちのやる気アップと学力向上につながっていたのだと思います。

大学では法学部に進みましたが、いざ就職活動を始めてみると報道の仕事が面白そうに思え、新聞社に入ることを決めました。1998年に入社し、鹿児島を振り出しに、本社では主に社会部畑を歩んできました。教育に関わる取材を長くやり、やってみたかった調査報道にも携わることができました。入社してから四半世紀で計10回転勤しましたが、まだ高知には赴任経験がありません。いつか古里で働き、何らかの

形で恩返しができればと思っています。

23年ぶりの再会

◇ ◇ ◇
41期 玉木祐一朗

41期の玉木祐一朗です。寄稿にあたり振り返っていましたが、大学受験の志望動機欄に、会計学を学び、将来は公認会計士として資本市場の健全な発展に寄与したいと書いたことをふと思い出しました。志望大学が公認会計士試験合格者数一位だったことから何となく書いたものでした。

土佐市に生まれ、高校から学芸にお世話になりました。3年間、



右が筆者、左が石田君

軟式テニス部で、尾崎先生と山本先生に礼儀作法も含めて指導頂きました。文武両道が徹底され、合宿の時間割に勉強も組み込まれていました。同期・後輩に恵まれ、岩手インターハイにも出場しました。慶應義塾大学でも軟式テニスを続け、同期の井上君と慶早戦を戦ったのは良い思い出です。東京土佐寮では寮母さんによく相談ののって貰いました。今、会計士をしているのは寮母さんのお陰です。

公認会計士試験は、予想以上に難しかったですが、不転転の覚悟が運をも引き寄せました。金銭的にも精神的にもサポートしてくれた両親に感謝です。

監査法人就職後は、仕事が楽しく、あれもこれもと手を挙げていたら、製造業、金融業、公益法人など色々な業界を担当させて頂きました。高知出身で酒にも強いだろうと可愛がってもらい、出張も多く、各地の郷土料理や銘酒を堪能できました。2014年からは3年間、中国深センに駐在しました。千人ほどの会計事務所日本人一人でしたので、会計・税務・不正・訴訟・労働問題、日本企業が抱えるあらゆる課題を担当。会計以外は専門外なので、



県大会団体優勝、前から2列目一番左が筆者

中国人専門家に大変お世話になりました。中国語は上手くなりませんが、今でも彼らとは仲良くさせて頂いています。

先日、学芸の軟式テニス部後輩の石田君が東京出張にやってくるというので23年ぶりに会いました。彼は現在、宿毛市で蘭を育てており、その世界では有名人になっています。二人で酒をかわし、昔話や仕事の話をしました。彼も中国と縁があり、中国の山奥まで勉強しに行かれるそうです。大変刺激を頂きました。

会計士になり今年で17年ですが、まだまだ勉強の日々です。「玉木君は、努力できる人だから会計士が

合つてると思うよ」とかつて寮母さんが言つて下さった通り、不器用ながらもこつこつとこの先も進んでいこうと思います。

あさかぜでは、「各期の声」に投稿していただける同窓生の皆さんを募集しています。日本全国から関東支部の皆さんに近況をお知らせいただける方は、31期西田まで。
junya.nishida@gmail.com

特別企画 部活動発表会

サッカー部 体操部 美術部

我々の母校、学芸高校の生徒の皆さんは、コロナ禍の影響により、部活動の成果を発揮するはずの発表会やイベントの場が中止や縮小になってしまっています。

そこで、10月29日(土)に開催予定の第35回総会(オンライン開催)では、一昨年・昨年の総会に引き続き、特別企画として、学芸高校の部活動発表会を行う予定です。

今回は、サッカー部、体操部、美術部の皆さんから参加表明がありました。是非、ご期待ください！

14期生卒業50周年の お知らせ

高知学芸高校14期生の皆様、卒業50周年を迎えました。いかがお過ごしでしょうか。

同窓会関東支部の慣例では、50周年を迎えた卒業生に対し、毎年秋に開催される支部総会で記念品の贈呈を行うことになっており、今年は私たち14期が該当学年です。

一昨年、昨年につき、今年も支部総会がオンライン開催となることから、残念ながら慣例通り記念品をいただくことができませんが、関東支部幹事会の協議により、来年開催予定の第36回総会の出席者に記念品をいただけることになりました。忘れずに参加ください。なお、来年は15期のほか、順延している12期と13期も対象です。

10月29日(土)の第35回総会はオンライン開催となりますが、一人でも多く参加してください。その際は卒業50周年を迎えたコメントをいただけるとう幸いです。

(第14期幹事 中城康彦)

高知学芸高校同窓会関東支部 会計報告

(期間：2020.10.1～2021.9.30) 2021.10.16

区分	項目及び概要	金額(円)
【収入の部】	1.前期繰越金	926,374
	2.第33回(2020年)総会参加費	0
	3.年会費 ・総会当日分(15,890円) ・振込(193,848円)	209,738
	4.祝金(同窓会本部、学芸高校)	0
	5.寄付金・銀行利息	25,006
	収入・計	1,161,118
【支出の部】	1.第33回(2020年)総会関係 ・会場費(61,380円) ・雑費・交通費(1,094円) ・幹事会会場費等(1,500円)	63,974
	2.案内はがき印刷・発送 ※「あさかぜ34号」は幹事会制作・オンライン発行のため無料	125,345
	3.関東高知県人会	10,770
	支出・計	200,089
【残高】	次期繰越金	961,029



〔同窓会年会費のお願い〕
関東支部では、コロナ禍の中、支出を抑えながら「あさかぜ」のオンライン発行や、オンライン総会開催等に取り組んでいますが、会計残高は減り続けています。今後も永く同窓会活動を継続するためにも、年会費振込を何卒よろしく願います。(事務局)

第35回関東支部総会

特別授業の講師紹介

シンガポール科学技術庁

診断技術開発研究所

主席研究員

高知学芸高校同窓会

シンガポール支部長

井上雅文氏(8期)



井上氏は「3年で戻る」とお母様を説得し日本を飛び出し、はや47年以上。その間カナダやシンガポールで感染症に関わる研究をされてきました。シンガポールでは世界45カ国以上で使われている新型コロナウイルスの検査キットを世界に先駆けて開発し、同国政府が功労者に贈る「ナショナル・デイ・アワード」を受章されました。47年間の海外生活の話題などを織り交ぜながら、海外から見た日本についてご講演いただきます。

同窓会関東支部 役員・幹事名簿

役員	役職	期	氏名
	支部長	6期	石川 明 男
	副支部長	18期	中城 千秋 幸
	副支部長	22期	市川 浩 幸
	会計監査	29期	西 雅 史 志 夫
	顧問	30期	前田 泰 律
	顧問	3期	細川 泰 律

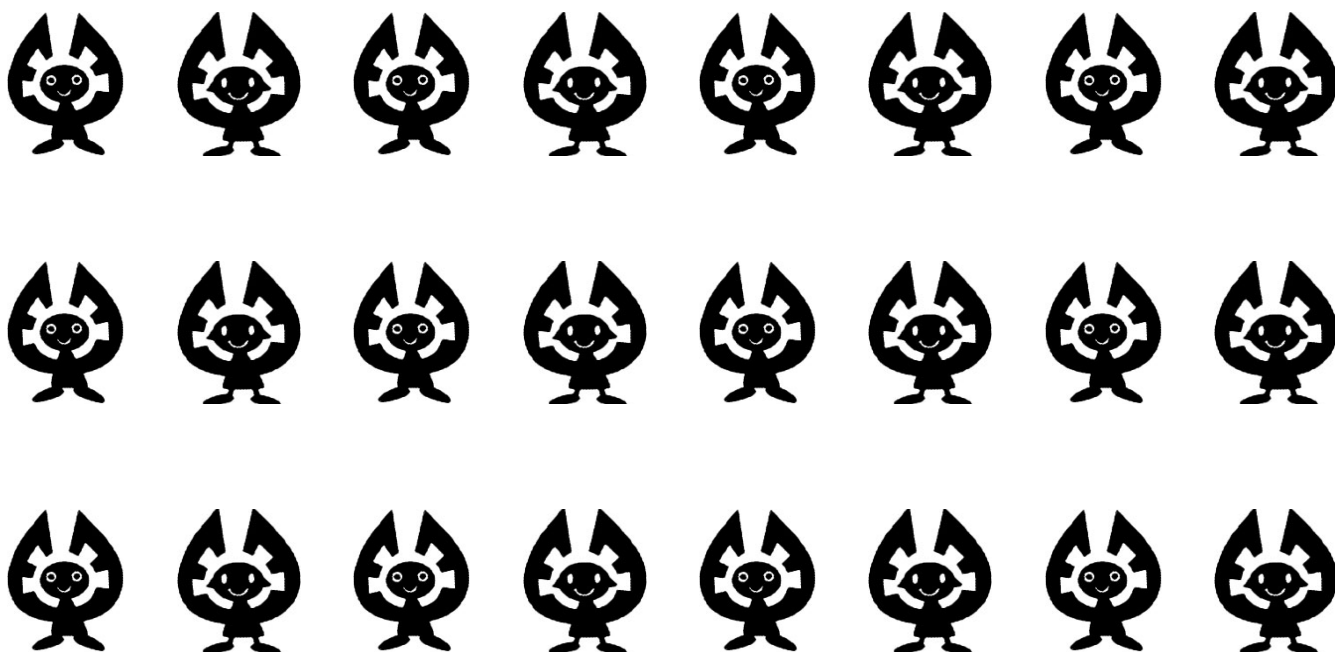
常任幹事	役職	期	氏名
機関誌編集		23期	伊野部 京子
		31期	西田 順也
		36期	藤原 清幸
		41期	坂東 千沙
	H P 管理	30期	上村 泰史

学年幹事	期	氏名(旧姓)
	1期	見野 昌宏
	2期	津川 武夫
	3期	細川 律一
	4期	安藝(大谷) 孝彦
	5期	多田 恵明
	6期	石川 一男
	7期	佐野 正子
	8期	岡本(十) 初洋
	9期	依川 志三
	10期	光田 法夫
	11期	内藤 新宏
	12期	西野 村 康
	13期	津中 野城 雅
	14期	岡田 田 善
	15期	西森 憲 司

学年幹事	期	氏名(旧姓)
	16期	濱崎 一彦
	17期	國藤 隆和
	18期	加地(森本) 千秋
	19期	中城 三球
	20期	種澤(前田) 園子
	21期	山崎 章浩
	22期	市川 幸司
	23期	伊野部 京子
	24期	伊野部 幸 伸
	26期	木村 正和
	27期	宇陀 雄 一郎
	28期	岡谷 恭 孝
	28期	谷村 拓 郎
	29期	西和 雅 史
	29期	和田 英 朗

学年幹事	期	氏名(旧姓)
	30期	前田 泰志
	30期	田友 謙一
	31期	住友 順也
	32期	西平 伸 卓
	33期	池井(市原) 作 卓
	35期	林 直 孝
	35期	藤原 裕久
	36期	藤野 清 幸
	36期	岡野 邦 孝
	37期	坂中 町 真 夕
	38期	坂中 東 貴 洋
	41期	坂東 千 沙
	42期	矢野 早 紀
	43期	森田 真 行

学年幹事	期	氏名(旧姓)
	43期	土田 由 紀
	44期	松坂 坂 雄 介
	50期	山本 憲 二 郎
	50期	山本 村 優 太
	53期	岸本 拓 磨
	54期	高山 橋 晃 誠
	56期	池田 美 結
	56期	神崎 崎 聡 碧
	57期	竹内 美 由 乃
	57期	川島 美 由 乃
	63期	



同窓会会員各位

2022年9月吉日
高知学芸高校同窓会関東支部
支部長 石川 明男**高知学芸高校同窓会関東支部 第35回総会のご案内**

高知学芸高校同窓会関東支部の第35回総会は、コロナ禍を踏まえて、10月29日(土)に、オンライン会議で開催致します(学士会館では開催致しません)。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

- 日 時：2022年10月29日(土)15時～16時40分
- 場 所：オンライン会議
- 会 費：当日会費 無料
年会費 2,000円(下記の通り銀行振込でお願いします。学生は無料。)

式次第

開 場 (オンライン会議への参加開始)	14:30～
総 会 (活動報告、会計報告など)	15:00～15:30
特別授業 井上 雅文 氏(8期)	15:30～16:00
「海外から見た日本」	
特別企画 部活動発表会	16:00～16:40

- 参加申し込み：下記の関東支部ホームページから申し込みをお願いします。申し込みは、準備の都合上、10月19日(水)までをお願いします。申し込みいただいた方には、開催一週間前を目途に、オンライン会議への参加方法などのご案内をメールさせていただく予定です。

<年会費振込のお願い>

年会費(2,000円)は、以下の口座への銀行振込でお願いします。
三井住友銀行 上野支店(779) 普通預金「8224917」
「高知学芸高等学校同窓会関東支部 会計 西 雅史」

<関東支部からの情報発信>

- ◎関東支部ホームページ (<http://kochigakugeikantoob.web.fc2.com/>)
関東支部主催イベントのご案内、会員同士の交流のお知らせ、「あさかぜ」のバックナンバー等、ご覧いただけます。総会・懇親会の出席連絡も簡単な操作で可能です。
- ◎関東支部公式Twitter (アカウント名：@kg_kob)
ホームページの更新や関東支部からの情報を広く皆様へ発信してまいります。フォローをお願いします。
- ◎関東支部Facebookグループ (非公開グループ：高知学芸高校同窓会関東支部)
会員同士が自由に情報を発信して交流を図っています。ホームページの更新等も確認できます。Facebookでグループ名「高知学芸高校同窓会関東支部」を検索し、グループに参加して下さい。既存メンバーに承認依頼するとスムーズです。

**関東支部ホームページアドレス**<http://kochigakugeikantoob.web.fc2.com/>